

『すべての営みには時がある』～『非連続の連続性』～

筆者は、2026年3月6日 病理組織診断業務に赴いた。医師になり、癌研究会癌研究所の病理部に入った。筆者は、若き日『癌細胞の尺取虫運動（自分の original point を固めてから、後ろの吸盤を前に動かし、そこで固定して前部の足に前に進める。かくていつも自分の originality を失わないですむ）』を学んだものである。3月7日は、群馬県の万座温泉日進館（標高 1800 メートル）での【『2026年 メディカル・ヴィレッジ in 嬭恋村 がん哲学外来カフェ in 万座』～『樋野先生お誕生日お祝い会』～】に赴く（画像）。

2023年2月18日『いい湯だな』の曲を拝聴した。【『いい湯だな』は、1965年から1969年にかけて、永六輔作詞、いずみたく作曲とのことである。47都道府県を題材にした52曲の内の一曲である。デューク・エイセス版は群馬県限定の温泉ソングで、草津温泉、伊香保温泉、万座温泉、水上温泉の4つが歌詞に登場する。】と謳われている。筆者は『伊香保温泉、万座温泉』は、特別な思い出がある。

筆者は、2002年 原田明夫氏（1939-2017；検事総長・東京女子大学理事長を歴任）と、『新渡戸稲造生誕140年記念シンポジウム』を伊香保温泉で行った。原田明夫氏からは【『本物の強さ』～『欣然たる面貌、快然たる微笑をもて』～】を学び、【2000年には『新渡戸稲造 武士道 100周年記念シンポ』、2002年『新渡戸稲造生誕140年』、2003年『新渡戸稲造没後70年』、さらに2004年には、国連大学で『新渡戸稲造 5000円札さようならシンポ』】を開催した。

伊香保温泉は、1897年、日本が誇る国際人・新渡戸稲造（1862～1933）が療養した場所と 若き日か聞いていたので、伊香保温泉街を散歩した。『365の石段』を登りながら、新渡戸稲造が伊香保温泉の保養中に『農業本論』（日本初の農学博士取得）を書いたことを、『われ21世紀の新渡戸とならん』（発行イーグレープ）（新訂版2018年、画像）に記述した。アメリカでの保養中に新渡戸稲造は『武士道』を完成させた。『天の下では、何事にも定まった時期あり、すべての営みには時がある。』（伝道者の書3章1節）。まさに、『人生は、もしかしたらこの時のため』を実感する日々である。

筆者が万座温泉に訪問したのは1998年である。そして、2012年 万座温泉日進館で『がん哲学外来カフェ』が開設された。『人生邂逅の非連続の連続性』である



樋野興夫
新渡戸稲造

新訂版

われ21世紀の
新渡戸
とならん

著者

樋野興夫

Okio Hino

イーグレース